

# 熊本県感染症情報 (7月5日～7月11日)

KKT 熊本県民テレビ 医療サイト事務局

## ◆◆◆ 感染性胃腸炎、ヘルパンギーナ、手足口病の報告が多い ◆◆◆

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	0	2	百日咳	0	2
RSウイルス感染症	0	0	ヘルパンギーナ	189	177
咽頭結膜熱	16	16	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	58	80
A群溶血性連鎖球菌 咽頭炎	45	47	急性出血性結膜炎	1	0
感染性胃腸炎	239	282	流行性角結膜炎 (はやり目)	5	5
水痘	59	65	細菌性髄膜炎	0	0
手足口病	152	117	無菌性髄膜炎	1	0
伝染性紅斑 (りんご病)	29	49	マイコプラズマ肺炎	1	0
突発性発しん	45	36	クラミジア肺炎	0	1

- 感染性胃腸炎は、報告数 239 件(前週報告数 282 件)と減少。  
地区別では、天草、山鹿、宇城に多く報告がみられる。  
年齢別では、1歳の28件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- ヘルパンギーナは、報告数 189 件(前週報告数 177 件)と増加。  
地区別では、天草、菊池、宇城に多く報告がみられる。  
年齢別では、1歳の63件を最多に、9歳以下からの報告である。
- 手足口病は、報告数 152 件(前週報告数 117 件)と増加。  
地区別では、菊池、山鹿、熊本に報告が多くみられる。  
年齢別では、2歳の38件を最多に、10～14歳以下からの報告である。

<p><b>腸管出血性大腸菌感染症 (O157など)</b></p>	<p>腸管出血性大腸菌は、次の3つの特徴を持っています。①強い感染力をもっており、食べ物についた少量の菌で感染します。また、タオルの共用などでも感染することがあります。②この菌が産生するペロ毒素は、強い毒性があり、重症化した場合には、腎臓や脳などに障害が起きることもあります。乳幼児や高齢者は特に注意が必要です。③潜伏期間が3～5日と長く、原因がわからない場合が多くあります。また、これまでに牛や羊などのふれあい体験で感染したと推定された例も報告されています。動物との接触後には「十分な手洗い」を行ってください。腸管出血性大腸菌は、75℃で1分間加熱することで死滅します。生の食材と加熱後の食品は、必ず別の調理器具で扱うなどの注意をしましょう。</p>
------------------------------------	--

## ◆◆◆ 年齢別発生状況 (インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点) ◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0～5ヶ月	6～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上
インフルエンザ	0																				
小児科定点年齢	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20歳以上						
RSウイルス感染症	0																				
咽頭結膜熱	16			2	2	2	3	2	2	1			2								
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	45			2	2	3	11	1	9	5	6	1	3	1	1						
感染性胃腸炎	239	3	24	28	18	23	14	19	15	10	13	12	36	5	19						
水痘	59	1	3	13	14	11	5	9	2			1									
手足口病	152	2	7	32	38	20	19	16	9	5	2	1	1								
伝染性紅斑	29		2		1	4	2	5	6	3	2	3	1								
突発性発しん	45	1	29	15																	
百日咳	0																				
ヘルパンギーナ	189	3	21	63	35	23	20	13	5	3	2	1									
流行性耳下腺炎	58		3	3	6	7	7	3	12	8	5	2	2								
眼科定点年齢区分	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	1															1					
流行性角結膜炎	5					1				1					1		2				
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0																				
無菌性髄膜炎	1	1																			
マイコプラズマ肺炎	1				1																
クラミジア肺炎	0																				